

一貫生産体制による迅速な生産体制を活かして市場展開 最新機器導入により省力化と少量多品種対応力の強化

世界三大毛織物産地といえば、イタリアのピエラ、イギリスのハダースフィールド、そして日本の尾州。尾州では主に毛織物やニットを中心に様々な種類の生地を生産する。分業が進んでいる尾州の中にあって、中伝毛織(NAKADEN KEORI)が、世界中のハイブランドから指名入りで注文が入るその理由は、信頼できる確かな品質と、デザイナーのどんなイマジネーションでも正確に形にする生産体制と技術力だ。

● 所在地 愛知県一宮市三条字郷内西1688
● 電話/FAX 0586-61-3111/0586-61-3120
● URL <http://nakadenkeori.co.jp/>
● 代表者 代表取締役社長 中島 幸介

● 設立 1960年
● 資本金 9,800万円
● 従業員数 151人



生産性向上

最新鋭の設備導入、工夫を凝らし他社との差別化を図る

中伝毛織が、デザイナーたちのあらゆる要望に応えトレンドに先回りした提案ができる背景には、世界のファッショントレンドへ通じているということがある。

未来のトレンドを読み解いて、戦略的に機械や人に投資をする。最新のトレンドを形にするための機械を先回りして整備している。現在最新の超高速織機76台に加え39台の丸編み機4台の横編み機を設備し24時間体制で稼働している。



最新鋭の設備を導入

多種多様な設備による省力化

織機に載せる前の準備工程では最新鋭の整経機を導入し小ロット対応を短時間でやっている。また、織物工場の屋根全面に太陽光パネルを設置発電だけでなく太陽の熱を遮断することで夏場工場内の空調を節電している。



工場屋根に設置した太陽光パネル

戦略的な人材配置を実施

中伝毛織は、織物とニット、糸染め、整理工場を自社(あるいはグループ会社)で持っている。これだけの幅広いクリエーションを支えているのは、それぞれの工程に専門技術を磨いている技術者達だ。地元の専門学校等から積極的に人材を採用、熟練の技術者と若手・中堅の人材をバランス良く配置するなど、人材育成や技術の継承も戦略的に行う。

NAKADEN KEORI

会社ロゴを刷新して、従業員の心を一つに

ものづくり